


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和3年2月10日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第7号	質問議員	8番	清水 明	
件名	1. 子どもたちのコロナに立ち向かう気持ちづくりを 2. この2年間の一般質問の検証				
要 旨					
<p>今回は喫緊の課題と、この2年間で質問したことにつき質問をする。</p> <p>1 一つ目の喫緊の課題である。新型コロナウイルスの影響が長期化する中で我慢を強いられている今日この頃である。我が身を守り、周囲の人々を守るために「新しい生活」になじまなくてはならないのは誰もが承知をするところであるが、膨らみすぎた風船はやがて破裂してしまう。特に子どもたちはこの状況になじめず心の安定を保つのが難しい日々であると思われる。「子どもを育てやすい町」が山北町のめざしていることから義務教育の児童生徒に「コロナ対策応援金」を支給し、子どもたちのコロナに負けない心を育てることを提案したい。財源は「ふるさと応援寄附金」を活用するのはどうだろうか。</p> <p>2 この2年間の一般質問の検証</p> <p>(1) 「子どもの居場所づくり」について いわゆる「学童保育」は希望する家庭が多くなり、施設、指導員の量的な課題が生じているようだが、そのことに対する現状把握は。</p> <p>(2) 台風、地震 火山噴火等自然災害の脅威が増している中、避難所運営一つをとっても官民の協力が必要である。官（役場）と民（地域住民）を結ぶ役割を担う地域防災リーダーの結成を急ぐ必要があると思うが。</p> <p>(3) 避難行動の際のペット同伴について質問したが、どのようなになったのか。</p> <p>(4) 「GIGAスクール」の進捗につき他市町ではタブレットを使った授業の実践例が報告されているが当町での状況はどうか。</p>					